要求性能項目確認書

　　【前提条件】本確認書においては、以下に示す鉄筋の状態を「標準的」な施工対象とします

　　　・断面の半分がコンクリートより露出した状態の鉄筋（長さ1000mm）

　　　・比較的軽微な腐食状態の鉄筋（顕著な断面減少には至っておらず、さび厚は100μm程度）

　　　・塩害環境ではなく、コンクリート中の塩分濃度も低い（※塩害環境の表示のある項目を除く）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施工性に関する情報 | A-1 | 前処理に関する情報 | ①さび面への対応方法・前処理の必要性：□必要／□不要・必要な工具種類：□電動工具／□手工具・使用する工具名称：・地鉄面露出の必要性：□必要／□必要なし・除去が必要なさび：□浮きさび／□固着さび／□塩分を多く含むさび　　　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　）・さび除去での留意点（※水洗いの実施は不可とする）②濡れている面への対応方法・濡れたままでの施工：□可能／□不可・表面水のふき取りでの施工：□可能／不可・乾燥させての施工：□必須／□望ましい／□必要なし・その他留意点 |
| A-2 | 装備や資格に関する情報 | ①必要な資格・必要な資格：□なし／□あり（　　　　　　　　　　　）　（特定の場面において必要となる場合は、その条件を記載）・望ましい資格：□なし／□あり（　　　　　　　　　　　）　（特定の場面において保有が望ましい場合は、その条件を記載）②必要な工具・電源：□不要／□必要・秤量用具：□不要／□天秤／□秤量カップ／　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　）・電動工具：□不要／□必要（　　　　　　　　　　　　　　）・手工具：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

要求性能項目確認書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | A-3 | 取扱いに関する情報 | 複数の材料がある場合は、材料毎に記載【材料A】①可搬性（荷姿、重量）・名称：（　　　　　　　　　　　　　　　　　）・荷姿：□缶／□袋／□スプレー／□その他（　　　　　　）・重量：②適用温度・適用温度範囲（　℃～　℃）・高温時、低温時の留意点　　高温時（　℃程度以上において、　　　　　　　　　　　　　）　　低温時（　℃程度以下において、　　　　　　　　　　　　　）③可使時間 ・使用可能とするための事前作業：□なし／□あり　　　□２液混合（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　□水練混ぜ（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・標準的な使用可能時間：□（　）時間／□（　）日・高温時、低温時の留意点　　高温時（　℃程度以上において、　　　　　　　　　　　　　　）　　低温時（　℃程度以下において、　　　　　　　　　　　　　）【材料B】①可搬性（荷姿、重量）・名称：（　　　　　　　　　　　　　　　　　）・荷姿：□缶／□袋／□スプレー／□その他（　　　　　　）・重量：②適用温度・適用温度範囲（　℃～　℃）・高温時、低温時の留意点　　高温時（　℃程度以上において、　　　　　　　　　　　　　）　　低温時（　℃程度以下において、　　　　　　　　　　　　　）③可使時間 ・使用可能とするための事前作業：□なし／□あり　　　□２液混合（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　□水練混ぜ（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・標準的な使用可能時間：□（　）時間／□（　）日・高温時、低温時の留意点　　高温時（　℃程度以上において、　　　　　　　　　　　　　　）　　低温時（　℃程度以下において、　　　　　　　　　　　　　） |

要求性能項目確認書

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施工性に関する情報 | A-4 | 施工工程、施工時間に関する情報 | ①標準的な工程と施工時間※露出鉄筋1000mm、軽微なさびが発生している状態を想定

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工程数 | 工程名 | 作業内容 | 施工時間（分） |
| 1 | 準備 |  |  |
| 2 | 前処理 |  |  |
| 3 | 防錆措置 |  |  |
| 4 | 養生 |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 6 |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※5以下は必要に応じて追記 |
| A-5 | 施工品質に関する情報 | ①所定の性能を発揮させるために必要な標準的な施工仕様　複数の材料を施工（塗布，噴霧）する場合には、材料毎に記載　例えば、塗膜厚や単位当たりの塗布量といった施工仕様を記載【材料A】名称：（　　　　　　　　　　　　　　　　）・施工回数：　　回（同じ材料の繰返し施工回数）・施工間隔：□なし／（　　　）□sec／□分／□時間・被覆厚さ：　　　μm（□１回あたり／□材料全体）・施工量：　　　□g／m、□g／m2（□１回あたり／□材料全体）・施工時間：　　分／m（□１回あたり／□材料全体）・特記事項：・特記事項：【材料B】名称：（　　　　　　　　　　　　　　　　）・施工回数：　　回（同じ材料の繰返し施工回数）・施工間隔：□なし／（　　　）□sec／□分／□時間・被覆厚さ：　　　μm（□１回あたり／□材料全体）・施工量：　　　□g／m、□g／m2（□１回あたり／□材料全体）・施工時間：　　分／m（□１回あたり／□材料全体）・特記事項：・材料Aとの施工間隔：　　　□分／□時間・特記事項：②品質を確保するうえでの留意点　施工の向きにより施工要領（塗布回数など）が異なる場合などの留意点を記載 ・一般的な留意点：・塩害環境での留意点：　塩害環境における対応（特に露出境界部）などの留意点を記載 |

要求性能項目確認書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施工性に関する情報 | A-6 | 施工管理に関する情報 | ①施工管理項目　例えば、塗膜厚やさび除去の程度といった管理項目を記載◆前処理・管理項目：□外観／□さび厚／□その他（　　　　　　　　）・管理方法：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）◆防錆措置・管理項目：□外観／□膜厚／□その他（　　　　　　　　　）・管理方法：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）②施工完了の判別方法・判別項目□外観／□膜厚／□その他（　　　　　　　　　）・判別方法：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

要求性能項目確認書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 防食性能に関する情報 | B-1 | 防食機構に関する情報 | 複数の防食機構の複合作用の場合は、防食機構毎に記載別表-3の分類に該当しない防食機構は、任意の名称を記載【防食機構A】◆名称（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）◆材料名、反応式等を用いて説明◆上記の防食機構が成立していることを示す根拠データ・試験の目的（確認内容）・試験方法（試験の名称）・試験条件・試験結果・添付資料：□あり（資料No.：　　）／□なし－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－【防食機構B】 |
| B-2 | 防食性能の持続性に関する情報 | ①適用する環境において、想定される防食材の劣化因子、並びに、その因子に対して一定の耐性があることを示す促進試験結果、大気暴露試験の結果、あるいは、実施工での追跡調査結果・試験結果の有無：　　□促進試験／□大気暴露試験／□追跡調査結果／□なし・想定する防食材の劣化因子：（　　　　　　　　　　　　　　　　）・試験条件・試験結果：　　□（　　）ヶ月の間変化なし／□（　　）ヶ月以降変化あり・添付資料：□あり（資料No.：　　）／□なし例えば、有機被覆防食のように紫外線やアルカリ溶液の影響を受けると想定される材料の場合は、紫外線劣化に対する促進試験の結果、耐アルカリ性試験の結果、大気暴露試験の結果、実施工での追跡調査結果などを添付 |

要求性能項目確認書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 防食性能に関する情報 | B-3 | さび面に対する防食性に関する情報 | ①さび面に対する促進試験の結果、大気暴露試験の結果、あるいは、さび面に対する実施工での追跡調査結果　試験条件や施工条件を含め、促進試験の結果などを添付・さび面に対する試験結果：　□促進試験／□大気暴露試験／□追跡調査結果／□なし　試験条件（対象箇所）　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　さびの状態　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　試験結果　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・添付資料：□あり（資料No.：　　）／□なし②所定の性能を発揮させるために必要な標準的な施工仕様において、前提条件となるさび除去の程度、および、塩害環境における留意点　一般環境と塩害環境で前提条件となるさび除去の程度が異なる場合は、それぞれ記載。また、前提条件に関係する留意点があれば記載　なお、コンクリート中に埋没している部分の鉄筋の腐食による影響は考慮しない・一般環境でのさび除去程度：□　　μm程度以下　　　　　　　　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　）・塩害環境でのさび除去程度：□　　μm程度以下　　　　　　　　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　）・塩害環境での留意点： |
| 断面修復に関する情報 | C-1 | 被膜の除去に関する情報 | ①施工した被膜の除去方法・電動工具：□不要／□カップワイヤ／□ディスクサンダー　　　　　／□その他（　　　　　　　　　）・手工具：□不要／□ワイヤブラシ／□ナイロンブラシ　　　　／□その他（　　　　　　　　　）・留意点：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| C-2 | 断面修復材との適応性に関する情報 | □C-1に該当するので本欄(C-2)記載なし①コンクリートとの付着試験の結果：□あり／□なし・試験方法：・試験結果：・添付資料：□あり（資料No.：　　）／□なし②耐アルカリ性試験の結果あるいは実施工での調査結果：□あり／□なし・試験方法：・試験結果：・添付資料：□あり（資料No.：　　）／□なし |